

2023 年度

町田市総合防災訓練
実施要綱(案)

町田市

第1 目的

過去の災害の例からも行政機関の力だけでは大規模災害を乗り越えることは極めて困難であるため、要綱で定める訓練を実施することで、市民、関係機関と連携した「自助」、「共助」の防災意識の醸成、および関係機関による児童生徒等に対する体験学習等を通じた防災教育活動の充実を図る。

また、防災体制の強化をより一層促進するとともに、継続かつ充実した訓練を推進するため、新たな開催方法により訓練を実施する。

第2 新たな開催方法

(1) 背景

(ア) 近年、台風や感染症の影響により、総合防災訓練の中止・規模縮小を余儀なくされており、当初計画した訓練が実施できない状況がある。

2019年度 令和元年東日本台風の影響により中止

2020年度 新型コロナウイルスの影響により規模縮小

2021年度 //

2022年度 //

(イ) 総合防災訓練の日程が1日のみであるため、時間的制限や会場確保の制限等により、柔軟な対応ができない状況がある。

(2) 趣旨

訓練や啓発イベントを1日にまとめて実施する従来の開催方法から、日程を予め分散させ年間を通して実施する『通年型』の開催方法とする。

(3) 効果

(ア) 1つひとつの訓練や啓発イベントの内容を充実させることができる。

(イ) 天候や感染症等による影響を最小限に留め、確実かつ継続して訓練を実施することができる。

(ウ) 市民に対して防災意識のより一層の高揚を図るとともに、継続した防災意識の働きかけを行うことができる。

(4) 主な内容

(ア) 防災フェスタ

- ・ 10月中旬に実施していた「防災フェア」を発展させ、「防災フェスタ」として始動する。
- ・ 見学・展示重視(フェア)から体験重視(フェスタ)とする。
- ・ 台風及び学校の夏休み期間に考慮するとともに、市民の意識の定着化及び来場者数増加に焦点を当てる。
⇒ 市民に対して防災対策のより一層の普及啓発を図ることができる。

(イ) 救出救助訓練

- ・ パフォーマンス重視の「震災演習」を、公共施設再編・学校統廃合に伴う解体建物等を活

用した実践的かつ効果的な訓練の「救出救助訓練」とする。

⇒ 防災関係機関が実際の解体建物等を活用した訓練を実施することで、効果的な訓練成果を得られることができ、より一層防災体制の強化を図ることができる。

(ウ) アウトドア×防災

・「アウトドア」と「防災」を組み合わせた取組として、実際の屋外避難用テントを活用した体験イベントを開催する。

⇒ 防災週間等に、各地区を巡回して実施することで、自主防災組織の活性化及び地域防災力の強化を図ることができる。

第3 重点訓練項目

市民への防災啓発、防災関係機関等における災害対応に係る技能の習熟をはじめとする各種訓練を実施しますが、特に以下の項目に重点を置くこととする。

重点項目1 新たな開催方法による訓練の実施

重点項目2 DX 推進

重点項目3 親子三世代が楽しく学ぶ防災イベントの実施

重点項目4 防災教育の推進

第4 訓練日時・会場

訓練日時:2023年4月から年間を通して実施

(1) 防災システム習熟度向上訓練 **重点項目2**

【場所:町田市庁舎 対象:市職員】

(2) 「物資調達・輸送調整等支援システム」操作・物資拠点開設訓練 **重点項目2**

【場所:町田市庁舎 対象:市職員】

(3) 避難施設開設運営訓練 **重点項目2**

【場所:各避難施設 対象:自主防災組織、学校関係者、市職員等】

(4) 防災フェスタ **重点項目3**

【場所:町田シバヒロ 対象:消防団、警察署、消防署、自衛隊、協定機関等 参加:市民】

(5) アウトドア×防災 **重点項目3**

【場所:町田第二、玉川学園・南大谷地区 対象:自主防災組織、学校関係者等 参加:児童生徒】

(6) 防災教育 **重点項目4**

【場所:市内小中学校 対象:自主防災組織、消防団等 参加:児童生徒】

(7) 災害対策部訓練【場所:町田市庁舎 対象:市職員】

(8) 救出救助訓練【場所:調整中 対象:消防団、警察署、消防署、自衛隊、協定機関等】

(9) 広報活動【場所:町田市庁舎 まちだ防災カレッジポータルサイト等】